

消防団の活動内容

主な行事

消防出初め式（1月）

新春を迎え、消防職・団員が一堂に会し、職務遂行への決意を新たに市民の皆さんに防火・火災予防に対する意識を高めてもらいます。

消防訓練大会（9月）

市内7分団による日頃の訓練の成果として、消防技術を競う大会を行います。

平常時は…

火災予防広報や消防団員訓練、訓練礼式、機器取り扱い、放水訓練、救急講習指導、高齢者世帯防火指導などを行います。

非常時には…

消防職員と連携した消火活動支援や大規模自然災害などでは避難誘導などを行います。

入団後の処遇は？

被服貸与

活動に必要な装備品は全て貸し出します。

報酬

1年間の活動に対する年額報酬と各種訓練や災害出動など、消防団としての活動には報酬が支払われます。

団員報酬（年額） 36,500円

災害出動（日額） 4,000円

訓練出動（日額） 3,000円

災害補償

活動中に負傷した場合の補償制度があります。

退職報償金

5年以上消防団活動をされた方に支給します。

※報酬の支給などには条件がありますので、詳しくはお問い合わせください。



みやした よういち
宮下洋一さん
(富浦分団・45歳)

- ① 当時の分団長から、入団の誘いを受けたのがきっかけです。それまで、消防団のことにに関しては全くの無知でした。
- ② 仲間と一緒に地元を守ることができると魅力があり、やりがいがあると思います。
- ③ 仕事の都合上、ある程度時間の融通が利くので両立することに問題はありません。
- ④ 災害対応訓練や危険予知訓練などを実施したことで、日常生活での考え方や心構えが変わり、

地元を守る『使命感』や『責任感』が持てたように思います。

- ⑤ 消防団に全く興味がなかった私ですが、今や充実した消防団活動を送ることができています。消防団訓練大会や行事など見に来ていただいて、少しでも興味を持っていただけたらと思います。



むかい なかりょうへい
向仲諒平さん
(鷺別分団・27歳)

- ① 現役消防団員の方に熱心に誘っていただきました。
- ② 地域防災を学ぶ機会を与えていただき、有事のときには、地域のために活動できることです。
- ③ もちろん仕事は優先にはなりますが、休日などの消防団活動には積極的に参加しています。
- ④ 私は地元出身ではないので、最新の地域の情報を先輩団員の方から教えていただいたり、共通の認識や目的を持った仲間として受け入れられたことです。

- ⑤ 本業を持ちながら活動することができずし、大災害のときには、まず自分の命を大事に避難して、その後の活動を学んでおくことにより、被災後の生活に貢献できるのではないかと考えています。ぜひ、一緒に地域貢献活動をしましょう。



つね まるりょうた
常丸凌太さん
(富士分団・30歳)

- ① 消防団員の知人から、やりがいや活動内容を聞き、また、広報などで団の活動を知って興味があつたので入団を決めました。
- ② 消防団の活動は人生の中で体験できないこともあるので、そこに魅力を感じています。
- ③ 入団時に仕事や家庭を優先しての活動との説明を受けていたので、気持ち的に楽になりました。家庭や職場共に理解をいただいているのでバランスが取れた活動ができています。

- ④ 入団したことで横のつながりができ、多様な方との出会いで自分が知らなかった知識を得たり、また、自分の意見を伝えることでチームワークが生まれ、共通の目標に向かう達成感を得ることができました。

- ⑤ 初めてのことや、分らないことにチャレンジすることは勇気が必要ですが、失敗を恐れずにチャレンジすることで多くのものを得ることができます。入団を考えている方は、ぜひチャレンジしてください。



すが わら やまと
菅原大和さん
(幌別分団・19歳)

- ① 消防士を目指しているので学生のうちに少しでも消防士の活動を知っておきたいので入団しました。
- ② さまざまな価値観や立場の方と協働ができ、市民の安全を守るため、火災予防のためのパトロール、年に数回大会など一つの目標に向かい共に訓練することにやりがいを感じました。
- ③ 学校が16時に終わり、消防団活動は19時から21時なので訓練の前後も急ぐことなく、時間が

あり、充実しています。

- ④ 私は消防士を目指しています。そのため消防団の活動を長くしている先輩や現役の消防士の方と話せる機会があるのでとても勉強になります。

- ⑤ 消防士を目指している方は、消防士の活動を知ることができるので入団した方がいいと思います。現在、仕事をしている方もその仕事と両立でき、自分のまちを守る光栄な活動だと思うので興味のある方はぜひ入団してください。

今 あなたの力が必要です
大切な人やまちを守りませんか？

消防団員を募集しています

問い合わせ 消防本部総務グループ (☎059611)



消防団とは

市町村の非常備消防機関で、その構成員の消防団員は他の本業を持ちながら、権限と責任を持つ非常勤特別職の地方公務員として『自らの地域は自ら守る』という精神に基づき、消防防災活動を行っています。



よし だ たく や
吉田拓矢さん
(登別温泉分団・32歳)

- ① 元々、父親が消防団に入っており、団員に知り合いが多かったことや消防団の活動にも興味もあり入団しました。
- ② 所管内での水害に出動し活動（ポンプで水抜き・流木排除など）した際に、地域に貢献できた喜びがあり、感謝されました。
- ③ 自営業なので比較的対応しやすいのですが、何と言っても職場が消防団活動に理解があり協力的です。
- ④ 同じ思いを持った仲間と活動することは、とても有意義です。
- ⑤ 防災についていろいろ学べ、有事のときだけではなく、日常でも活用できることがあります。消防団は皆さんが思っているほど封建的ではないので、気兼ねなく参加してみたいかでしょうか。

消防団員の入団資格

登別市に在住する18歳以上の方で、心身ともに健康な方であれば、サラリーマン、主婦、学生など職業は問いません。



き 村 ら ゆ う じ
木村優二さん
(登別分団・59歳)

- ① 団員の方から、地域のために協力してくれないかと誘っていただいたことがきっかけです。
- ② 訓練などの活動を通して規律性があり、身が引き締まる思いや日々の生活を見つめ直すことができます。
- ③ 個人事業主ですので、消防団活動には多少融通が利くところがあります。
- ④ 年齢差問わず、いろいろな方と知り合うことができ、日常生活の相談などができる仲間が増えました。また、地域の方から「同じ町内に消防団員さんがいると安心する」と言っているみたいです。
- ⑤ 最初は少なからず抵抗はありましたが、入団すると、仲間と協力しながら、日常ではなかなか体験できない活動することなど、充実した生活を送らせていただいています。

私たちと一緒に活動しませんか？

消防団員に聞いた

消防団活動の気になる

あれ

これ

- ① 入団の理由・きっかけ
- ② 消防団員の魅力・やりがい
- ③ 仕事や家庭との両立について
- ④ 団員になってよかったこと
- ⑤ 入団を考えている方へメッセージ



おか も と れ い こ
岡本麗子さん
(女性分団・46歳)

- ① 学生時代にボランティア活動をしていたことや、地元が好きで地域に少しでも貢献できたという思いから入団しました。
- ② 災害時の活動など、学んだことや、救命講習の指導をさせていただくことで、いざというときの備えと防災への意識が高まりました。
- ③ 子育て中の時は、活動に参加できないことなどがありましたが、先輩団員の方は子育ての経験者ばかりでしたので、よく理解していただきましたし、家族も協力してくれているので活動することができています。
- ④ 以前に、高齢のご夫妻の大きなスーツケースを階段の上までお持ちしたことがありましたが、後日、消防団活動中、その方にお会いしたときに私の顔を覚えてくださっていて、団員として活動していることにたくさんのお褒めの言葉をいただき、とても嬉しかったです。
- ⑤ 消防団活動の中には、女性ならではの活動もあります。子どもがいても、仕事をしていても、活動している同じ境遇の仲間がいますので、興味のある方はぜひ、声を掛けてください。